



市民施設見学会が終了しました



平成26年8月6日(水)にふらの市民環境会議と富良野市主催の環境関連施設見学会が開催され、ふらの市民環境会議の会員4名と市民10名の方が参加されました。

今回見学を行った金山ダムと金山発電所では、廃棄物を出さず燃料を使用しない発電方法である水力発電について学び、南富良野町と占冠村では地域の豊富な森林資源を生かしたボイラー設備や燃料について、身近な地域で取り組まれている環境に優しい再生可能エネルギーについて学ぶことができました。

9:10 南富良野町 金山ダムを見学



金山ダムでは、地域にダムが作られるまでの経過や歴史、ダムの役割などの説明を受けた後、約260段の階段を下りてダムの中の見学を行いました。金山ダムでは、水の力を利用した水力発電を行っており、北海道の各地へ供給されているとのことでした。

10:45 南富良野町 金山発電所見学



金山発電所では、水の勢いを利用して水車を回し電気をつくるという水力発電の仕組みや、電気が発電所から家庭に届くまでの流れについて説明を受けた後、実際に電気をつくっている水車の施設見学を行いました。

13:30 南富良野町 チップボイラー施設・雪氷乾燥施設見



かなやま湖ログホテルランチで昼食をとった後、敷地内にあるチップボイラー施設の見学を行いました。かなやま湖ログホテルランチでは、冬期間の暖房の一部としてチップボイラーを使用しています。ボイラーに使用する燃料チップは、森林資

源に恵まれている地域の特性を活かして、用材にならない幹材や枝などを破碎・選別してつくり、より良く燃える燃料にするため雪氷と太陽光熱を利用した乾燥施設で燃料チップを乾燥させているとのことでした。

15:30 占冠村 薪ボイラー施設見学



占冠村では、湯の沢温泉森の四季で利用している薪ボイラー施設の見学を行いました。占冠村では、森林資源に恵まれている地域の特性を活かして、林地残材や間伐材などを薪にして燃料として使用し、加温や給湯、暖房として利用されているとのことでした。また、燃料を製造する過程やボイラーの運用・管理にともない、雇用創出も行っているそうです。

17:00 富良野市役所着